

⑫ 公開特許公報(A) 平4-105608

⑤Int. Cl.⁵A 47 F 7/24
B 65 D 21/02
B 65 G 1/14

識別記号

3 0 3

庁内整理番号

A 6850-3K
Z 2330-3E
2105-3F

⑬公開 平成4年(1992)4月7日

審査請求 有 請求項の数 1 (全11頁)

⑭発明の名称 衣類輸送用ハンガーラック

⑯特 願 平2-225858

⑰出 願 平2(1990)8月27日

⑱発 明 者 竹 内 克 徳 東京都江戸川区中央1-1-12

⑲発 明 者 長 谷 川 晴 義 千葉県柏市逆井869-4 サンライフ柏台C-302

⑳出 願 人 株式会社東日本橋流通 東京都江東区新砂1丁目8番10号
センター

㉑出 願 人 株式会社奥山工業 東京都江戸川区中央1丁目1番12号

㉒代 理 人 弁理士 鈴江 武彦 外3名

明 細 書

1. 発明の名称

衣類輸送用ハンガーラック

2. 特許請求の範囲

キャスター付きのZ型台車上の前後に左右一対ずつの支柱を立設し、且つこれら左右支柱の上端相互を連結する前後上梁を設けると共に、この前後上梁の中間部相互を連結する中央上梁を該前後上梁や支柱よりも高い位置に設け、更に前記左右の前後支柱間にそれぞれ多数の衣類を吊り下げておける吊下げバーを上下複数段に配設してなり、その左右の最上段の吊り下げバーはそれぞれ前後上梁に各々回動可能に枢着した前後一対ずつの支持アームに両端を支持して不使用時に前記中央上梁と隣接する位置に跳ね上げ可能に設け、これより下側段の左右各吊り下げバーは両端を前後支柱に係脱可能に係合して設けると共に、その前記支柱間から取外した下側段の各吊り下げバーを前記左右支柱間に立て掛け状態に保持する保持具を設けたことを特徴とする衣類輸送用ハンガーラック。

3. 発明の詳細な説明

〔発明の目的〕

(産業上の利用分野)

本発明は、大量の衣類をハンガーに掛けて吊り下げたまま移動して、倉庫等に保管或いは展示したり、コンテナの如くトラックや貨車等に積み込んで輸送したりするのに利用される衣類輸送用ハンガーラックに関する。

(従来技術)

近年、衣料流通産業等においては、背広やコート等の衣類をしわが寄らないようにハンガーに掛けたまま大量に保管したり搬送するために、衣類輸送用ハンガーラックを利用している場合が多い。

この衣類輸送用ハンガーラックは、下部にキャスターを有する長方形の台車を用いたもので、この台車上の前後左右に支柱が一本ずつ立設され、これら前後左右の各支柱が相互に連結梁により連結され、この前後の連結梁の間に吊り下げバーが横架された構成である。

この衣類輸送用ハンガーラックの吊り下げバーに衣類をハンガーを介し吊り下げ、そのまま台車下部のキャスター走行により移動させて、倉庫等に保管或いは展示したり、トラックや貨車等に積み込んで輸送したりしている。

(発明が解決しようとする課題)

ところで、前述の従来の構成の衣類輸送用ハンガーラックでは、衣類を吊り下げる場合には、吊り下げバーが一段のみに配しているので、大量の衣類を吊り下げることができない。また、衣類を吊り下げない不使用時に、複数の空のハンガーラックを保管する場合には、各ハンガーラックの台車が長方形をなし、その左右前後に支柱が立設され、その各支柱相互が連結梁により連結されて全体的に長方体形状をなしているので、積み重ねたり、互いに入り組んだ状態に寄せ付け合う即ち、ネスティング状態にできず、個々に嵩ばって、倉庫内の格納スペースを大きくとってしまう。また、空のハンガーラックをトラック等で、回送する場合でも、個々に嵩ばって一度に多数台積み込

車上の前後に左右一対ずつの支柱を立設し、且つこれら左右支柱の上端相互を連結する前後上梁を設けると共に、この前後上梁の中間部相互を連結する中央上梁を該前後上梁や支柱よりも高い位置に設け、更に前記左右の前後支柱間にそれぞれ多数の衣類を吊り下げておける吊り下げバーを上下複数段に配設してなり、その左右の最上段の吊り下げバーはそれぞれ前後上梁に各々回動可能に枢着した前後一対ずつの支持アームに両端を支持して不使用時に前記中央上梁と隣接する位置に跳ね上げ可能に設け、これより下側段の左右各吊り下げバーは両端を前後支柱に係脱可能に係合して設けると共に、その前後支柱間から取外した下側段の各吊り下げバーを前記左右支柱間に立て掛け状態に保持する保持具を設けた構成である。

(作用)

前記構成の衣類輸送用ハンガーラックによれば、使用時には、Z型台車上の支柱間の左右それぞれ上下複数段の吊り下げバーを選択的に利用し、それらに多数枚ずつの衣類をハンガー等を介し吊

むことができない不具合があった。

本発明は前記事情に鑑みなされたもので、その目的とするところは、上下複数段に大量の衣類を吊り下げることができ、この状態で移動したり倉庫等に保管或いは展示でき、更にはトラック等に積み込んで輸送でき、また衣類を吊り下げない不使用時には、簡単な操作で複数の空のハンガーラック相互をネスティング状態(嵩ばらないように互いに入り組んで寄せ合う状態)にできて、そのまま倉庫内等に少ないスペースで保管したり、トラック等に一度に多数台積み込んで回送したりでき、更に、ハンガーラックの保管や回送状態にするために取外した部材は邪魔にならない所定箇所に具合良く保持しておけて、紛失、損傷等の心配をなくせる実用性に優れた簡便な衣類輸送用ハンガーラックを提供することにある。

(発明の構成)

(課題を解決するための手段)

本発明の衣類輸送用ハンガーラックは、前記目的を達成するために、キャスター付きのZ型台

り下げできるので、コートからショートパンツまでの各種丈サイズの衣類を多量に吊り下げ得る。この状態で軽く押すことで、台車下部のキャスター走行により移動したり倉庫等に保管或いは展示しておけ、更にはトラック等に積み込んで輸送できる。

また、空の不使用時には左右の最上段の吊り下げバーをこの両端の支持アームを介し上方に跳ね上げて中央上梁に隣接させると共に、その最上段より下側段の各吊り下げバーを前後支柱間から取外す。そして、この下側段の各吊り下げバーを前後の左右支柱間に保持具により立て掛け状態に保持する。

これにてZ型台車上の前後支柱間には、これらより高い位置に前記中央上梁と、この前後に跳ね上げ隣接した左右最上段の吊り下げバーとが存在するのみで、これ以外に何も存在するのが無くなる。この状態で複数の空のハンガーラックを左右方向から寄せ付ければ、その相互のZ型台車はもちろんのこと、左右前後支柱及び前後上梁が前記

中央上梁及び左右最上段の吊り下げバーの下側に
なんら支障なく入り込み、各ハンガーラック相互
がぴったりと入り組んだネスティング状態になる。
こうして多数の空のハンガーラックを個々に嵩ば
らせることなく非常にコンパクトにネスティング
して、倉庫内等に少ないスペースで保管したり、
トラック等に一度に多数台積み込んで回送したり
する。

また、その保管或いは回送して来たハンガーラ
ックを再び使用する場合は、跳ね上げ状態の前後
の最上段の吊り下げバーを両端の支持アームを介
し左右方に引き倒し、また、前後の左右支柱間の
保持具に立て掛け保持しておいた下側段の各吊り
下げバーを該保持具より取外し、左右の前後支柱
間に係合して横架する。これで初期状態に復元で
きて大量の衣類をハンガー等を介し吊り下げられ
るようになる。

なお、前記ネスティング状態或いは使用状態に
するに際し、左右の最上段の吊り下げバーは脱着
せずに両端の支持アームを介し、単に跳ね上げた

スティングできるものである。なお、このZ型台
車1下部の各キャスター2は第13図に示す如く、
前記Z型台車1の下部に取付けた転回支持具2a
に車輪2bを回転自在に取付けたもので、不用意
に回転走行しないように足踏み式のストッパ2c
が取付けられている。

また、第2図に示す如く、前記Z型台車1の前
後の枠部材1a、1b上には左右一対ずつの支柱
3a、3b、3c、3dが立設されている。これ
らの支柱は、スチール製の角パイプからなるもの
で、この前後の左右支柱3a、3b及び3c、
3dの上端相互は前後上梁4a、4bにより連結
されている。この前後上梁4a、4bは前記支柱
と略同様の角パイプよりなり、それぞれの両端が
前記支柱3a、3b及び3c、3dに溶接固定され
ている。この前後上梁4a、4bの各々の中間
部の内側面には、上方に突出してブラケット5a、
5bが取付けられている。この前後のブラケット
5a、5bの上部に両端を溶接固定して中央上梁
6が取付けられている。この中央上梁6はスチー

リ引き倒したりするだけで、それにより下側段の
吊り下げバーのみを支柱間に脱着すれば良いので、
その操作が簡単に済む。しかもその取外した下側
段の各メイン吊り下げバーは、左右支柱間に保持
具を介して立て掛け保持しておけるので、ハンガ
ーラックの保管や回送の際のネスティングに邪魔
にならないと共に、紛失や損傷等の心配がなくな
る。

(実施例)

以下、本発明の一実施例を第1図乃至第13
図に基づいて説明する。

まず、第2図において、図中1はZ型台車で、
これは前後一対の左右に長く亘る枠部材1a、
1bと、この前側の枠部材1aの右端と、後側の
枠部材1bの左端を対角線上に連結する連結部材
1cにより構成されている。このZ型台車1の前
後左右下面にはキャスター2がそれぞれ設けられ
ている。

このZ型台車1は第12図に示す如く複数個互
いに入り組んだ状態にぴったり寄せ付け合ってネ

ル製の丸パイプで、前記前後支柱3a乃至3d及
び前後上梁4a、4bより高い位置に水平に横架
された状態にある。これら前後左右の支柱3a乃
至3dと前後上梁4a、4bと中央上梁6とによ
りハンガーラックの強固な骨組みが構成されてい
る。

前記左右の前後支柱3a、3c及び3b、3d
間にはそれぞれ多数の衣類AをハンガーBを介し
吊り下げておける上下複数段ずつの吊り下げバー
7、8が配設されている。これら吊り下げバー
7、8は前後に長尺なメインバーであって強靱な
スチール製の丸パイプからなる。

これらメイン吊り下げバー7、8のうち、最上
段の左右メイン吊り下げバー7、7は、前記前後
上梁4a、4bに枢着した前後一対ずつの支持ア
ーム9a、9bにより両端を支持することで跳ね
上げ可能に設けられている。

つまり、前記前後上梁4a、4bのそれぞれの
内側面の左右寄り部にはL字板状のブラケット
10が一個ずつ溶接固定されている。これらブラ

ケット10の中央端寄りに前記支持アーム9a、9bの基端部が枢支ピン11により回動可能に枢着され、これら前後の支持アーム9a、9bの先端部相互に最上段のメイン吊り下げバー7、7の両端が固定されている。そして、通常は第2図及び第3図～第5図並びに第7図の実線の如く前後の支持アーム9a、9bが左側のものは左方に、右側のものは右方にそれぞれ前後上梁4a、4bと平行に倒れて、前記ブラケット10の下部から水平に張出す受板部10a上に受け止められ、これで最上段の左右メイン吊り下げバー7、7がそれぞれ第1図に示す如く左右の前後支柱3a、3c及び3b、3d上端相互間位置に水平に保持されている。この状態から該最上段のメイン吊り下げバー7、7を上方に押し上げることで、この両端の支持アーム9a、9bが第1図及び第7図の仮想線で示す如く、前記枢支ピン11を中心に回動して、該吊り下げバー7、7をそれぞれ前記中央上梁6の左右に同一高さで平行に隣接する状態に跳ね上げ可能となっている。

記前後支柱3a、3c及び3b、3dの対向面に形成した係合穴14に差し込んで、落とし込むことで係合されるようになっている。なお、その係合穴14は左右支柱3a、3c及び3b、3dの対向面に上下複数段(図示では3段)に配して形成され、それら各段に必要なに応じ選択的に当該下側段のメイン吊り下げバー8、8に係止できるようになっている。また、各左右支柱3a、3b、3c、3dの外側面には上下4段に配して、前記係合穴14と同様に増設用係合穴15が形成されている。

前記上下複数段の前後メイン吊り下げバー7、7及び8、8間には左右方向に適當間隔を存して複数本ずつのサブ吊り下げバー16が脱着可能に取り付けられている。これらのサブ吊り下げバー16は第9図及び第10図に示す如く構成されている。すなわち、このサブ吊り下げバー16は短尺な金属製のパイプからなり、この一端には、メイン吊り下げバー7或いは8を上側から馬乗り状に弾性挟持する板ばねを用いた掛止部材17が取

また、前記左右一対ずつの支持アーム9a、9bの各々の内側面略中央にはコ字状部材12が溶接固定されている。このコ字状部材12にはストッパであるねじ13がねじ込み操作可能に設けられている。このねじ13は前記支持アーム9a、9bを第7図の三点鎖線に示す一段高い位置に回動した状態で該アーム9a、9bを貫通するように深くねじ込むことで、前記ブラケット10に穿設された係止穴10bに係止し、これにて該支持アーム9a、9bの回動を規制して最上段のメイン吊り下げバー7、7の高さが一段高く変更されるようになっている。

一方、前記最上段の前後のメイン吊り下げバー7、7より下側段の前後のメイン吊り下げバー8、8は、それぞれ両端を左右支柱3a、3c及び3b、3dに対し係脱可能に係合して設けられている。

つまり、これら左右の下側段のメイン吊り下げバー8、8は、第8図に示す如く両端寄りに凹溝8aが形成されている。この両端の凹溝8aを前

付けられている。他端には緊締具18が取付けられている。この緊締具18は、半円弧状のバンド18aと、フック18bを有した操作レバー18cとにより構成され、この操作レバー18cをヒンジ18dを支点に回動操作することにより、フック部18bでバンド18aの先端部を引っ掛けてメイン吊り下げバー7或いは8に締結したり、逆にバンド18aをフリーにしてメイン吊り下げバー7或いは8から離脱したりできるようになっている。

このサブ吊り下げバー16にも第3図に示す如く多数の衣類AをハンガーBを介して吊り下げておける。なお、これらサブ吊り下げバー16に吊り下げた衣類Aは両肩が左右のメイン吊り下げバー7、8より外側にはみ出さないで、トラック等に積み込んで輸送するのに最適となる。この輸送時の振動、衝撃による衣類Aの脱落を防止するために、該サブ吊り下げバー16にはハンガー脱落防止バー19が設けられている。このハンガー脱落防止バー19は該サブ吊り下げバー16

の両端寄りに回動可能に設けた一対の回転レバー 19 a, 19 a 間に取付けた小径丸パイプで、第 10 図に示す如く、サブ吊り下げバー 16 に衣類のハンガー B のフック部 C を引っ掛けた状態で、該脱落防止バー 19 を両端の回転レバー 19 a, 19 a と共にサブ吊り下げバー 16 の回りに矢印で示すように跳ね上げ反転させれば、この脱落防止バー 19 が想像線で示す如くハンガー B のフック部 C の開口側と反対の裏側を押さえ付けて、該ハンガー B のサブ吊り下げバー 16 からの脱落を防止するようになっている。

前記前後の左右支柱 3 a, 3 b 及び 3 c, 3 d 間には下側段の各吊り下げバーを保持する保持具 20 が設けられている。この保持具 20 は、上下一対ずつの受梁 21 とホルダー 22 により構成されている。前記上下の各受梁 21 は丸パイプ状のもので、両端の取付脚部 21 a を前記支柱に溶接することで固定されている。これら受梁 21 には両端寄りと中間の 3 箇所ずつにそれぞれホルダー 22 が取付けられている。この各ホルダー 22 は、

板部 10 a 上に受け止められる。これにて該最上段の左右メイン吊り下げバー 7, 7 はそれぞれ第 2 図に示す如く、左右の前後支柱 3 a と 3 c 及び 3 b と 3 d 上端相互間位置に水平に保持される。

また、吊り下げる衣類に応じ、下側段の左右メイン吊り下げバー 8, 8 を左右の前後支柱 3 a, 3 c 及び 3 b, 3 d 相互間に横架する。つまり、左右支柱 3 a, 3 c 及び 3 b, 3 d 相互の適当高さの係合穴 14, 14 を選択し、これら係合穴 14, 14 にメイン吊り下げバー 8 両端を差し込んで凹溝 8 a により係合させる。

更に、前記上下複数段の左右メイン吊り下げバー 7, 7 及び 8, 8 間に複数本ずつのサブ吊り下げバー 16 を前後方向に適当間隔を存して並列状態に取付ける。この際、各吊り下げバー 16 の一端は掛止部材 17 によりメイン吊り下げバー 7, 8 に弾性挟持し、他端は緊締具 18 のバンド 18 a によりメイン吊り下げバー 7, 8 に緊締して遊動しない状態に保持する。

以上で第 2 図のように組み立てたら、この状態

第 11 図に示す如く受梁 21 に対し回轉可能に嵌合した円筒状の取付けベース 22 a から軸線を直交する状態に C 型挟持部 22 b を突設した構成とされている。この C 型挟持部 22 b に前記取り外し可能な左右の下側段のメイン吊り下げバー 8 を第 1 図に示す如く差し込むことにより、ネスティングに邪魔にならないように左右支柱 3 a, 3 b 或いは 3 c, 3 d 相互間に平行に立て掛けた状態に保持できるようになっている。また、前記各サブ吊り下げバー 16 は両端の掛止部材 17 と緊締具 18 を上下の受梁 21, 21 に直接係合することで同様に立て掛けた状態に保持しておけるようになっている。

前記構成の衣類輸送用ハンガーラックの作用について説明する。

先ず、ハンガーラックの使用時に際しては、最上段の左右メイン吊り下げバー 7, 7 を相互に左右方に開くように引っばる。これでその両端の支持アーム 9 a, 9 b が回動して、それぞれ前後上梁 4 a, 4 b と平行に倒れ、ブラケット 10 の受

で左右上下段の各メイン吊り下げバー 7, 8 或いは上下複数本ずつの各サブ吊り下げバー 16 に多数枚ずつの衣類 A をハンガー B を介して吊り下げる。これで多量の衣類 A を吊り下げておけ、この状態で軽く押すことで、Z 型台車 1 下部のキャスター 2 の走行により移動し、そのまま倉庫等に保管或いは展示し得る。また、その多量の衣類 A を吊り下げたままトラック等に積み込んで輸送できる。

なお、この輸送の場合は、各衣類 A を前記上下複数本ずつのサブ吊り下げバー 16 に第 3 図に示す如く吊り下げる。これにて各衣類 A の両肩が第 4 図の場合のように左右メイン吊り下げバー 7, 8 より外側にはみ出さないで、トラック等の荷室内に多数台詰め込んで輸送できる。

また、背広等において丈サイズが大きい衣類を最上段の吊り下げバー 7, 7 に吊り下げる場合は、両端の支持アーム 9 a, 9 b を介し上方に押し上げ、その途中でストッパーであるねじ 13 をねじ込んで係止穴 10 b に係止することにより止める。

これで、該最上段の吊り下げバー7、7が通常より一段高く支持されて、前記丈サイズの大きい衣類をその裾が下段に触れることなく吊り下げおけるようになる。

更にまた、コートやロングドレス等の丈の長い衣類を吊り下げの場合は、前記下側段のメイン吊り下げバー8、8を全て取外し、最上段のメインの吊り下げバー7、7に該丈の長い衣類を吊り下げる。また、逆にショートパンツや子供服などの丈の短い衣類を吊り下げの場合は、下側段のメイン吊り下げバー8、8の本数を増やして上下複数段に配して利用する。

また、空の不使用時には、まず各サブ吊り下げバー16の緊締具18の操作レバー18cを操作してバンド18aを緊締解除し、これで各吊り下げバー16をメイン吊り下げバー7、7及び8、8から取外す。そして、それら各サブ吊り下げバー16は複数本ずつ分配して前後の左右支柱3a、3b及び3c、3d間の保持具20の上下受梁21、21に各々の両端の掛止部材17と緊

の2型台車1はもちろんのこと、左右前後支柱3a、3b、3c、3d及び前後上梁4a、4bが前記中央上梁6及び前後最上段の吊り下げバー7、7の下側に何ら支障なく入り込み、各ハンガーラック相互がぴったりと入り組んだネスティング状態になる。こうして多数の空のハンガーラックを個々に嵩ばらせることなく非常にコンパクトにネスティングして、倉庫等に少ないスペースで保管したり、トラック等に一度に多数台積み込んで回送したりする。

また、その保管或いは回送して来たハンガーラックを再び使用する場合は、跳ね上げ状態の最上段の左右吊り下げバー7、7を両端の支持アーム9a、9bを介し左右方に引き倒す。また、前後の左右支柱3a、3b及び3c、3d間の保持具20にそれぞれ立て掛け保持させておいた下側段のメイン吊り下げバー8、8とサブ吊り下げバー16を取り外す。そして、その下側段のメイン吊り下げバー8、8は左右の前後支柱3a、3c及び3b、3dの適当高さの係止穴14、14に再

締具18を介し係合することにより立て掛け保持する。

次に、下側段の左右各メイン吊り下げバー8、8を左右の前後支柱3a、3c及び3b、3dの係合穴14、14から抜き出して、該前後支柱3a、3c及び3b、3d相互間から取外す。そして、これらを前記前後の保持具20の上下受梁21、21のホルダー22のC型保持具22bに挿入して立て掛け保持する。

更に最上段の左右メイン吊り下げバー7、7を支持アーム9a、9bを介し上方に跳ね上げて、中央上梁と同一高さで隣接する状態となす。

これにて第1図に示す如く2型台車1上の前後支柱3a、3c及び3b、3d間には、これらより高い位置に前記中央上梁6と、この左右に跳ね上げ隣接した左右最上段の吊り下げバー7、7とが存在するのみで、これ以外に何にも存在するものが無くなる。

この状態で複数の空のハンガーラックを左右方向から第6図に示す如く寄せ付ければ、その相互

び差し込み係止して横架する。また、前記上下段の左右メイン吊り下げバー7、7及び8、8に複数本ずつのサブ吊り下げバー16を横架する。これで第2図に示した初期状態に復元して大量の衣類AをハンガーBを介し吊り下げて保管・展示や輸送に利用する。

前述のように前記ネスティング状態或いは使用状態にするに際し、左右の最上段のメイン吊り下げバー7、7は脱着せずに両端の支持アーム9a、9bを介し、単に跳ね上げたり引き倒したりするだけで、それより下側段のメイン吊り下げバー8、8のみを支柱間に脱着すれば良いので、その操作が簡単に済む。

しかも、その取外した下側段の各メイン吊り下げバー8、8及びサブ吊り下げバー16は、左右支柱3a、3b及び3c、3d間に保持具20を介し立て掛け保持しておけるので、ハンガーラックの保管や回送の際のネスティングに邪魔にならないと共に、紛失や損傷等の心配がなくなる。

なお、倉庫や展示場等において、大量の衣類を

吊り下げ保管或いは展示などするために、前述したハンガーラックを複数台増設する場合には、そのハンガーラックを前後方向に該ハンガーラック一台の長さ寸法分に相当する間隔を存して配列する。そして、その前後のハンガーラック相互間を、予め用意しておいた前記下側段のメイン吊り下げバー8と同等の増設用吊り下げバー（図示せず）により連結する。つまり、増設用吊り下げバーを複数本用意し、これら増設用吊り下げバーの両端を、一方のハンガーラックの前側の左右支柱3a、3bと、他方のハンガーラックの後側の左右支柱3c、3dの上下複数段に配する増設用係合穴15に第8図で示したと同様に差し込んで凹溝8aにより係合する。これで前後に配列するハンガーラック相互が連結されると共に、その相互を連結する増設用吊り下げバーがそのまま衣類の吊り下げに利用できる。これにて2台のハンガーラックを並べれば、その相互間の増設用吊り下げバーをも利用して合計3台分に相当する量の衣類を吊り下げでき、3台並べれば5台分に相当する

されると共に、その相互を連結する増設用サブ吊り下げバーがそのまま衣類の吊り下げに利用できる。これで少ない台数のハンガーラックで大量の衣類の吊り下げ保管或いは展示が都合良くできるようになる。

（発明の効果）

本発明は、前述の如く構成したから、上下複数段に大量の衣類を吊り下げることができ、この状態で移動したり倉庫等に保管或いは展示でき、更にはトラック等に積み込んで輸送でき、また衣類を吊り下げない不使用時には、簡単な操作で複数の空のハンガーラック相互をネスティング状態（嵩ばらないように互いに入り組んで寄せ合う状態）にできて、そのまま倉庫内等に少ないスペースで保管したり、トラック等に一度に多数台積み込んで回送したりでき、更に、ハンガーラックの保管や回送状態にするために取外した部材は邪魔にならない所定箇所に具合良く保持しておけて、紛失、損傷等の心配がなくせる実用性に優れた簡便な衣類輸送用ハンガーラックを提供することが

量の衣類を吊り下げできるようになり、大量の衣類の吊り下げ保管或いは展示に好都合となる。なお、その増設用吊り下げバーの設置高さは、吊り下げる衣類に応じ、前記上下複数段に配する増設用係合穴15を選択することで上下4段に自由に変更可能である。

また、更に大量の衣類を吊り下げ保管或いは展示すべく、ハンガーラックを左右方向にも列配して増設することが可能である。この場合は、ハンガーラックを左右方向に該ハンガーラック一台の幅寸法分に相当する間隔を存して配列し、その左右のハンガーラック相互間を、予め用意しておいた前記サブ吊り下げバー16と同等の増設用サブ吊り下げバー（図示せず）により連結する。つまり、増設用サブ吊り下げバーを複数本用意し、これら増設用吊り下げバーの両端を、一方のハンガーラックの左側のメイン吊り下げバー7、8と、他方のハンガーラックの右側のメイン吊り下げバー7、8とに第9図で示したと同様に係合する。これで左右に配列するハンガーラック相互が連結

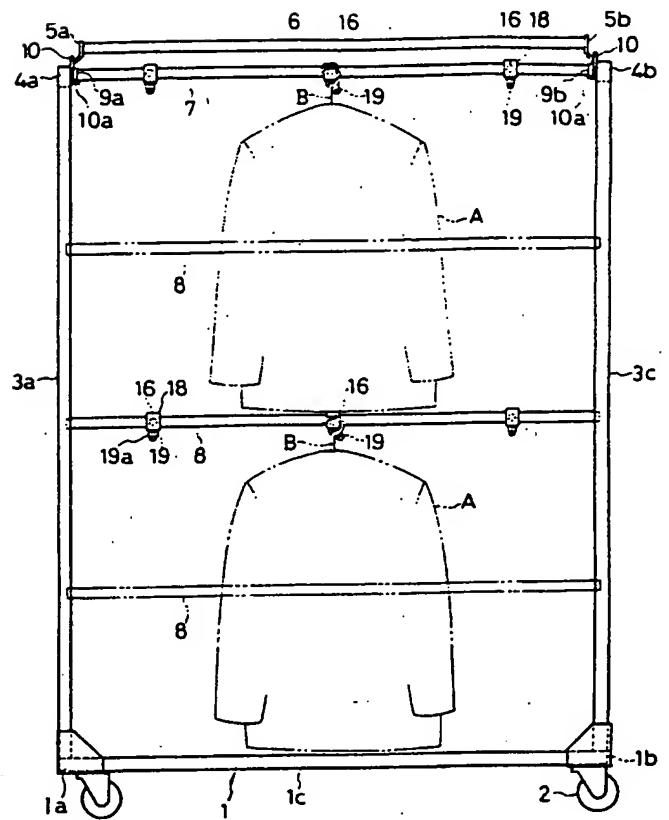
できる。

4. 図面の簡単な説明

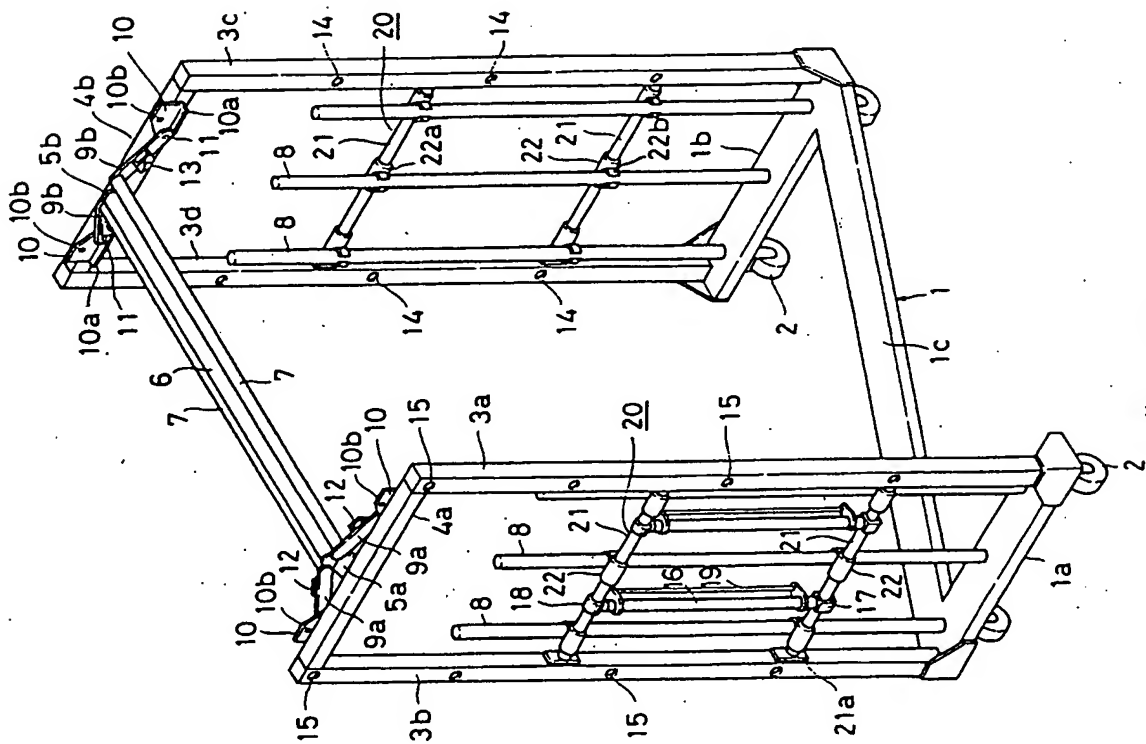
図面は本発明の衣類輸送用ハンガーラックの一実施例を示すもので、第1図はネスティング可能に展開した状態の斜視図、第2図は衣類を吊り下げ可能に組立てた状態の斜視図、第3図は第2図の側面図、第4図は同正面図、第5図は同平面図、第6図は第2図の状態の2台の空の衣類輸送用ハンガーラックを寄せ合わせたネスティング状態の平面図、第7図は第2図のVII-VII線に沿う部分の拡大断面図、第8図は下側段のメイン吊り下げバーの支柱に対する取付構造を示す一部省略した断面図、第9図はサブ吊り下げバーのメイン吊り下げバーに対する取付構造を示す一部省略した正面図、第10図は第9図のX-X線に沿う拡大断面図、第11図は保持具の構造を示す一部省略した側面図、第12図は2台のZ型台車を寄せ合わせたネスティング状態の斜視図、第13図はZ型台車に取付けられたキャスターの斜視図である。

1... 2 型台車、3 a, 3 b, 3 c, 3 d... 支柱、4 a, 4 b... 前後上梁、6... 中央上梁、7, 8... 吊り下げバー (7... 最上段のメイン吊り下げバー、8... 下側段のメイン吊り下げバー)、9 a, 9 b... 支持アーム、16... サブ吊り下げバー、20... 保持具 (21... 受梁、22... ホルダー)、A... 衣類。

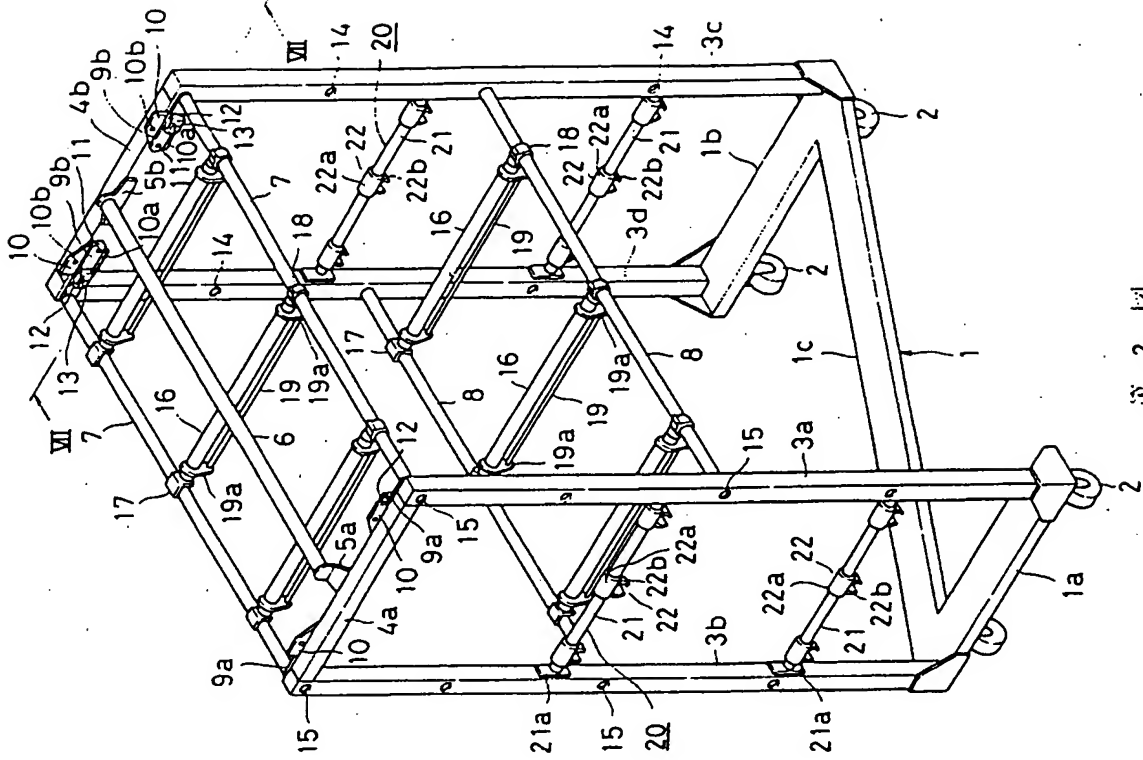
出願人代理人 弁理士 鈴江武彦



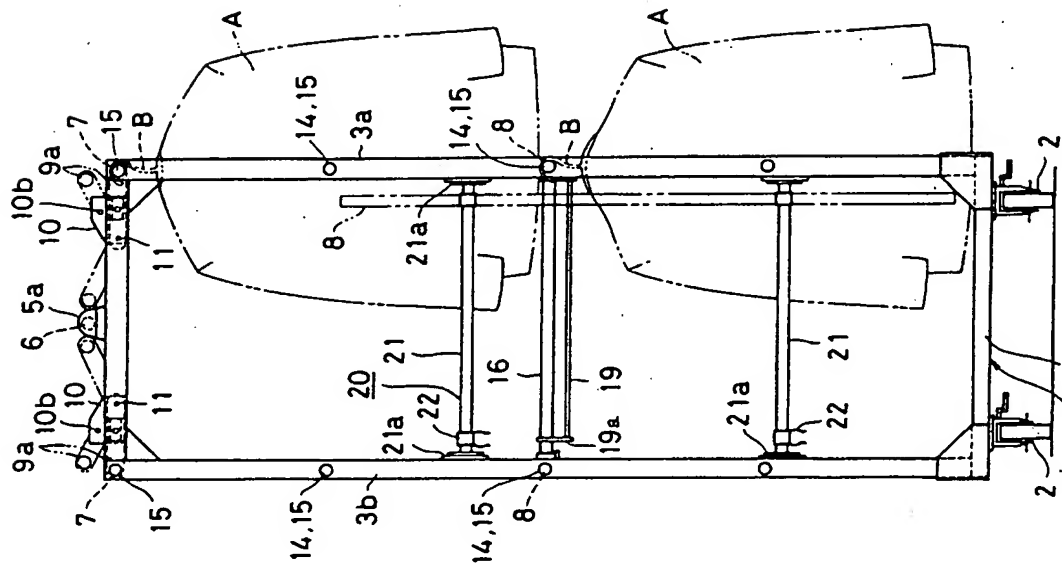
第 3 図



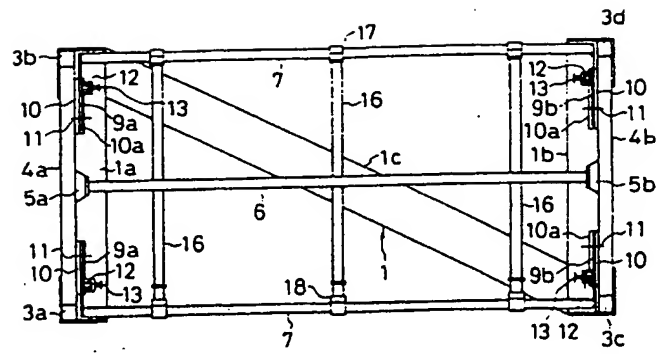
第 1 図



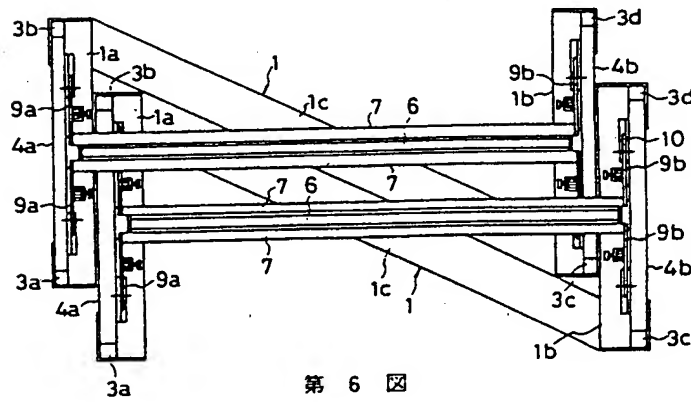
第 2 図



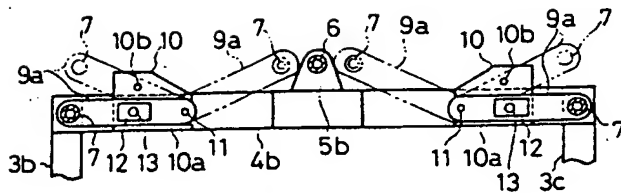
第 4 図



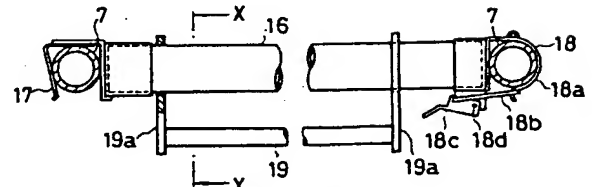
第 5 図



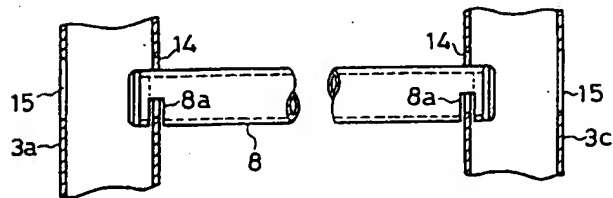
第 6 図



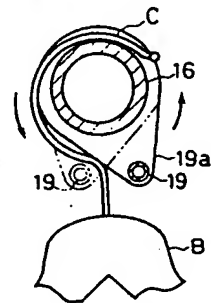
第 7 図



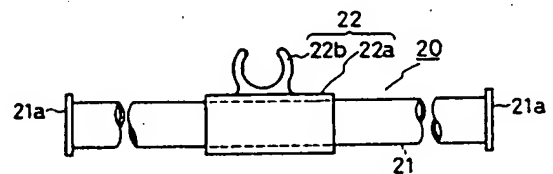
第 9 図



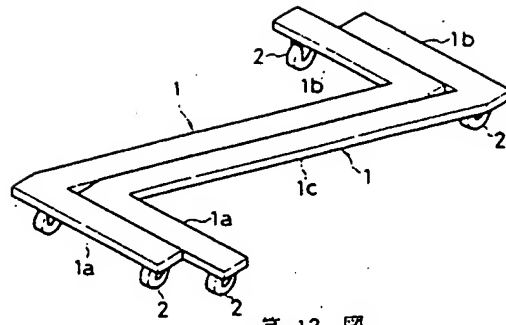
第 8 図



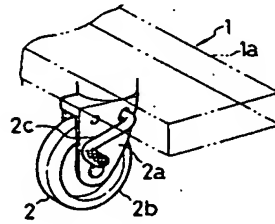
第 10 図



第 11 図



第 12 図



第 13 図